

熊本市生物多様性関連事業実施状況について

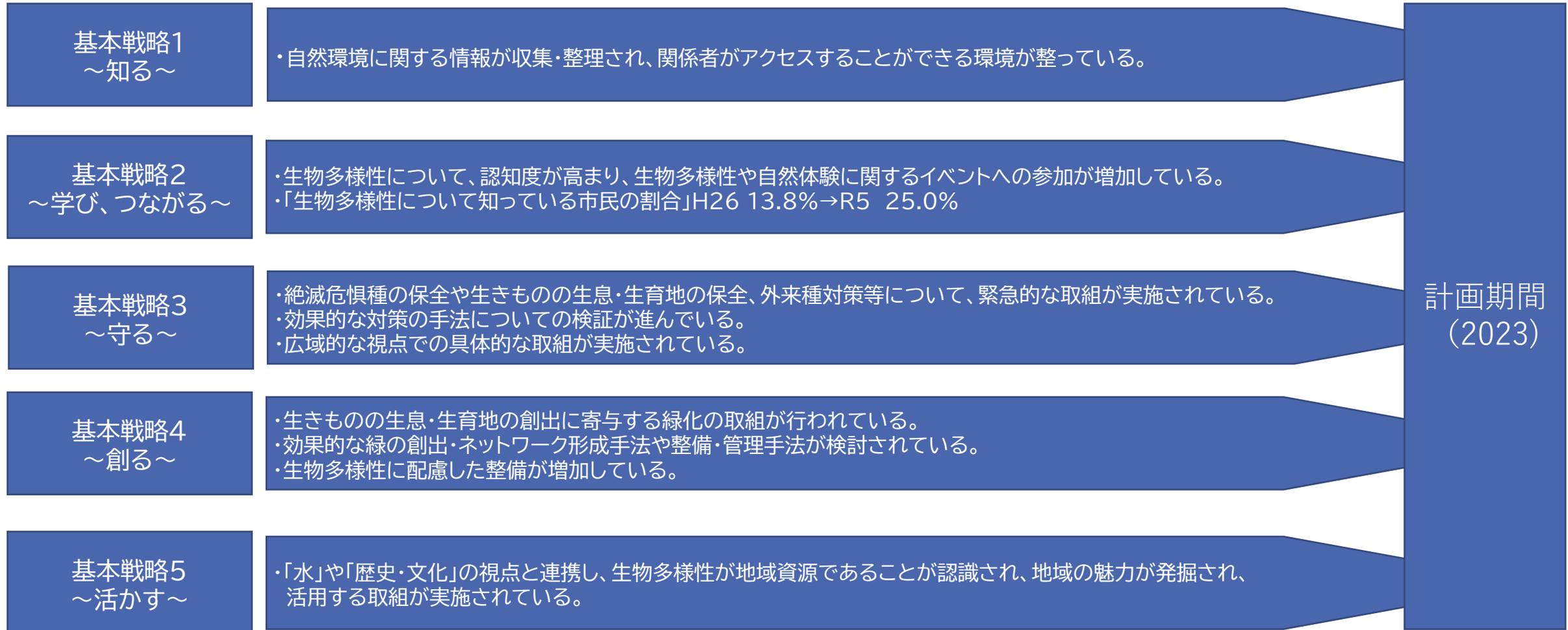
-熊本市生物多様性戦略 計画期間中に達成すべき目標と具体例-

説 明:15分
質疑応答:25分

令和5年(2023年)3月23日
熊本市生物多様性推進会議

熊本市生物多様性関連事業実施状況について

-熊本市生物多様性戦略 計画期間中に達成すべき目標と具体例-



基本戦略1 ～知る～

基本戦略1
～知る～

【目標】

自然環境に関する情報が収集・整理され、関係者がアクセスすることができる環境が整っている。

◎市民参加型セミ調査2022

- ・市民参加型として、セミのモニタリングを実施し、636件の調査報告があった
- ・ロアツソ熊本のホームスタジアムでもセミ調査を実施
- ・令和5年度には、より多くの市民に参加をしてもらうための取組として、LINEから報告できるシステムを実証実験を予定

◎熊本市動植物園に生物多様性情報コーナー設置

- ・熊本の自然環境や市民活動に関する情報発信の拠点として動植物園のいきもの学習センターに生物多様性情報コーナーを設置
- ・動植物園内に新設された「水辺のインフォメーションセンター」などにも設置できないか検討中

熊本市で1番多いのはクマゼミ!?

昔はニイセイゼミが多かった!?

熊本市にミンミンゼミはいない!?

調査期間 7/4(月) 9/9(金)

参加対象 小学4年生以上

自由に鳴くセミもいるよ!

自由研究にもオススメ!

スマホ・タブレットからも報告可能! このQRコードを撮影し、いつでも

熊本市 環境共生課

熊本市 セミ調査

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号(市役所本庁7階)
電話:096-328-2352 FAX:096-359-9945 メール:kankyoukousei@city.kumamoto.lg.jp



↑ロアツソ熊本のホームスタジアムには飲食店などが多数出店しており、その中に熊本市からもセミ調査のブースを出展。試合前にスタジアム周辺でサポーターと一緒にセミ調査を行った

基本戦略2 ～学び、つながる～

基本戦略2 ～学び、つながる～

【目標】

- ・生物多様性について、認知度が高まり、生物多様性や自然体験に関するイベントへの参加が増加している。
- ・「生物多様性について知っている市民の割合」H26 13.8%→R5 25.0%

◎「いきものフェアくまもと2022

～来て見て実感！身近な生物多様性～」を開催

- ・令和4年5月21、22日に熊本市動植物園で生物多様性の日イベントとして3年ぶりの開催
- ・熊本博物館、環境総合センター、動植物園、環境共生課の4課で連携して実施(4課連携プロジェクト事業)
- ・多数の方が来園し、各種イベントに参加

◎江津湖の外来種を学ぶアプリ開発

- ・江津湖の外来種問題に対する理解度向上を目的としたアプリの開発に向けた熊本県立大学の取組(熊本市は協力)。
- ・令和5年10月の江津湖みなも祭りで小学生を対象に、アプリを使用したイベントを開催予定

いきものフェアくまもと2022

～来て見て実感！身近な生物多様性～

毎年5月22日は「国際生物多様性の日」。身近ないきものたちの世界をとおして、楽しみながら『生物多様性』について学んじゃおう！

2022年 5月21日(土) 22日(日) 9:30～16:00

会場／熊本市動植物園 (熊本市東区健軍 5-14-2)

参加無料 (ただし動植物園の入園料・駐車料金は必要)

【主催】熊本市 教育委員会／熊本博物館 経済観光局／動植物園 環境局／環境総合センター・環境共生課

【お問い合わせ先】096-328-2352 (環境共生課)

いきものフェアくまもと2022 プログラム

- 参加費・事前申込み不要
- 天候その他により、変更・中止となる場合があります

キーワードラリー 「いきもんクエスト」 チェックポイントをまわり、ひみつ の言葉を完成させて、プレゼントを もらっちゃおう！ 9:30～16:00 (申込受付は15:00まで) いきもの学習センター 前テント 定員 20名	水生生物ウォッチング 園内の小川に生息するいきものを捕ま えて、観察しよう！ 10:45～11:45 9:30～ いきもの学習センター 前テント 定員 保護者同伴10組程度	いきもの観察会 園内で、昆虫や草花などいろいろな いきものを見つけよう！ 10:10～10:40 9:30～ いきもの学習センター前テント 定員 30名
いきものガイドツアー 園内の動物とその動物にかかわる 植物のつながりについて紹介するよ！ 14:20～14:50 14:00～ いきもの学習センター 前テント 定員 20名	カブトムシ・クワガタムシ講座 カブトムシ・クワガタムシと生物多 様性について関係あるの？ 13:30～14:00 13:00～ いきもの学習センター 前テント 定員 30名	セミの鳴き声当てクイズ セミの鳴き声を当てて、プレゼントを もらっちゃおう！ 9:30～16:00 いきもの学習センター内

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、現在、レンタルサイクル及びベビーカーの貸出しは行っていません。

熊本市動植物園のSDGsへの取り組み

熊本県立大学からの取組(2019年度)のSDGs事業にも認定されました。本園においても、環境教育(1教育)、環境教育(1教育)、環境教育(1教育)といった取組を通じて、SDGsの目標達成に向けて取り組んでまいります。

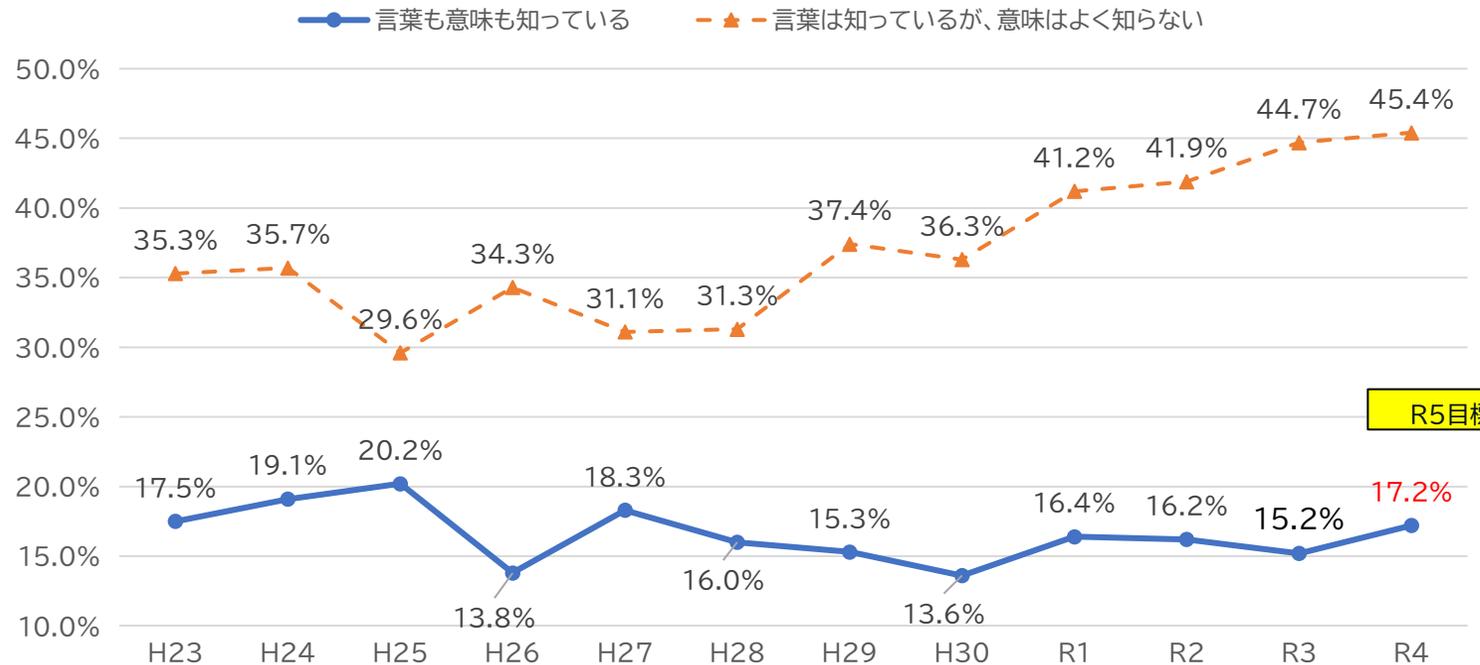
基本戦略2 ～学び、つながる～

基本戦略2
～学び、つながる～

【目標】

- ・生物多様性について、認知度が高まり、生物多様性や自然体験に関するイベントへの参加が増加している。
- ・「生物多様性について知っている市民の割合」H26 13.8%→R5目標 25.0%

生物多様性について知っている市民の割合



◎生物多様性の認知度

- ・言葉も意味も知っている人の割合は低水準で推移
- ・言葉を知っている人の割合は増加傾向
- ・意味を理解してもらう取組が必要

※R4の値は速報値

基本戦略3 ～守る～

基本戦略3 ～守る～

【目標】

- ・絶滅危惧種の保全や生きものの生息・生育地の保全、外来種対策等について、緊急的な取組が実施されている。
- ・効果的な対策の手法についての検証が進んでいる。
- ・広域的な視点での具体的な取組が実施されている。

◎江津湖の外来魚駆除

- ・外来魚の低密度化を保つため定期的な駆除を実施
- 一方、江津湖全体にどれだけの外来魚が生息しているかわからないので効果の検証が難しい

◎アライグマ対策

- ・隣接する周辺地域でのアライグマ捕獲や確認情報の増加に伴い、熊本連携中枢都市圏事業を活用し、熊本市、玉東町、宇土市、宇城市の4市町で広域的な生息状況調査を実施

◎ゴケグモ類の情報発信

- ・令和4年度は熊本県内で初めてゴケグモ類であるハイイロゴケグモが確認された
- 新たにチラシを作成・設置。熊本市ホームページにもハイイロゴケグモを加え情報を発信



基本戦略4 ～創る～

基本戦略4 ～創る～

【目標】

- ・生きものの生息・生育地の創出に寄与する緑化の取組が行われている。
- ・効果的な緑の創出・ネットワーク形成手法や整備・管理手法が検討されている。
- ・生物多様性に配慮した整備が増加している。

◎生物多様性に配慮した緑地の創出(緑化助成制度)

・令和4年7月1日から緑化助成制度を見直し、住宅や事業所の敷地内に樹木を植栽される方へ緑化助成(つながりの森づくり補助金)を実施

【改正点】

- ・個人住宅、共同住宅、事業所の申請要件を緩和(植栽面積から植栽本数へ変更)
- ・個人住宅、共同住宅への補助上限額の引き上げ
- ・熊本市緑の基本計画に規定する緑化重点地区への補助上限額を引き上げ 等



- 申請要件が緩和され、制度がわかりやすくなったことにより、申請件数が増加
- 前年度比で植栽面積(m²換算)は1.53倍となり、令和4年度は緑化目標の800m²を達成。令和3年度 626m² → 令和4年度 957m²



